

日進市「道の駅」

Nisshin City Michi-no-Eki Project



日進市
NISSHIN

計画地の位置

「道の駅」計画地は、日進市のほぼ中央に位置する尾三消防本部日進消防署より、主要地方道瀬戸大府東海線を挟んだ西側付近（本郷町前田周辺）に計画しています。

【位置図】



尾三消防本部日進消防署より計画地を望む

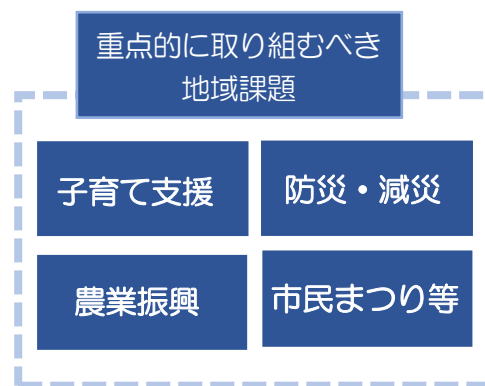
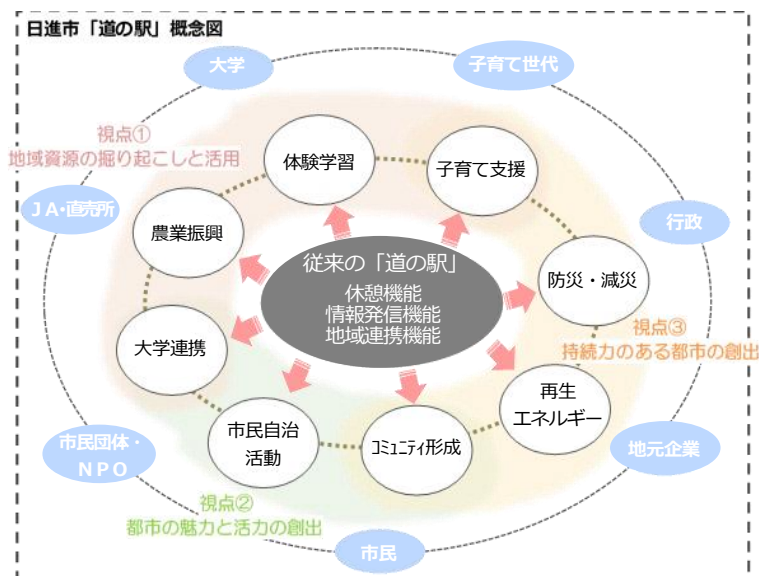


整備コンセプト

整備コンセプト

市民が集い にぎわい 成長し 都市をデザインする「道の駅」

日進市「道の駅」は、従来の「道の駅」機能を基盤に、日進市の個性や特性、大学や市民自治活動等の地域資源を活かした、地域課題の解決とともに、これからのまちづくりに向けた地域活性化の拠点としての整備を目指しています。

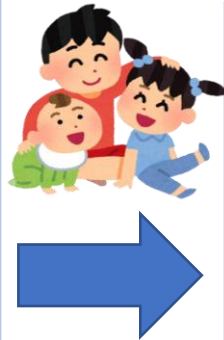


日進市「道の駅」の特徴

子育て

整備方針

- ◆広い駐車場を備えた「道の駅」に子育て支援施設を設置する。
- ◆増加する子育て世代の支援ニーズに対応する。



「道の駅」における方向性

- ◎子育て支援施設、屋外広場・公園、授乳室、子ども用トイレ、オムツ替え台等の設置
- ◎「出張ひろば」による子育て相談や親子の交流の場となるようなイベント等の開催

防災・減災

整備方針

- ◆大規模災害に備えた防災体制を充実させる。
- ◆防災・減災に関する情報発信・啓発を行う拠点とする。
- ◆地域住民・道路利用者の一時的な避難場所とする。



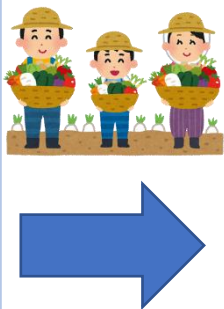
「道の駅」における方向性

- ◎人命救助機能を総合運動公園から緊急輸送道路沿線の「道の駅」に移転
- ◎防災拠点として防災ヘリポートを兼用とした屋外広場、非常電源、防災倉庫等を整備

農業

整備方針

- ◆「道の駅」に集まる人が「農」の楽しさや「食」への興味を高め、農業への理解を深めてもらう。
- ◆「道の駅」で整備する施設を利用し、「田園フロンティアパーク構想（基本計画）」との一体化を図る。



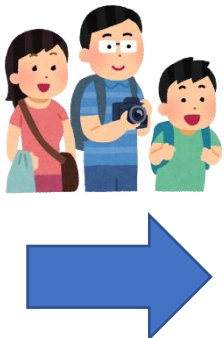
「道の駅」における方向性

- ◎農業者、農業団体、出荷者が農産物を販売できる場を整備
- ◎「道の駅」に集まる人に対して、市民農園等のPR、参画を促し、新規就農者を育成

市民自治活動

整備方針

- ◆多様な人が集い交流・連携するにぎわい創出の拠点とする。
- ◆地域情報を発信し、地域一体の魅力的な観光地域づくりを推進する。



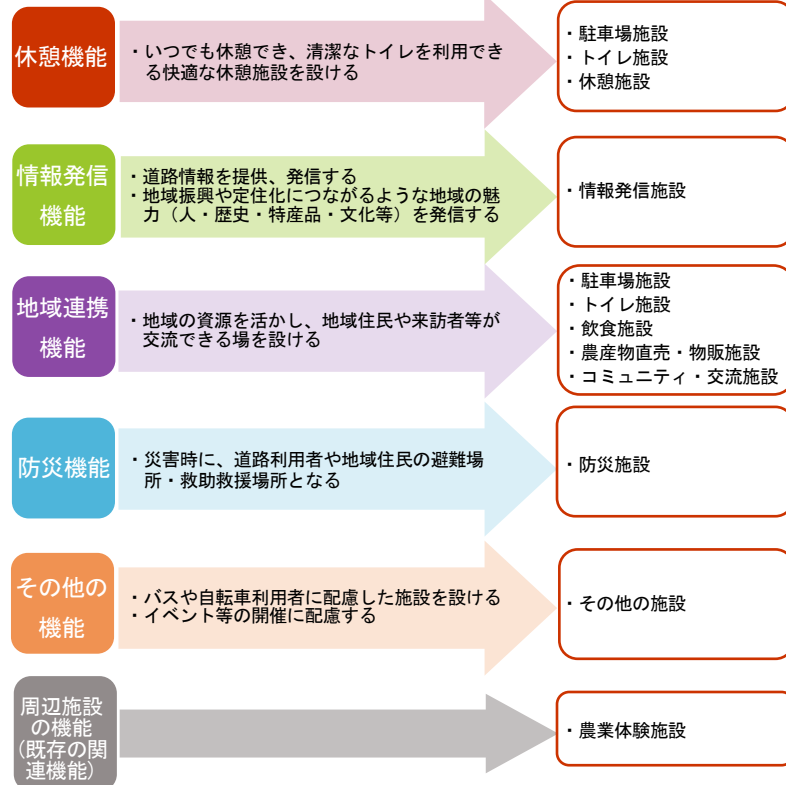
「道の駅」における方向性

- ◎市民自治活動やイベント情報の発信
- ◎イベント等の開催ができる多目的室、広場を整備
- ◎DMO活動拠点(事務所)を整備し、観光活動の場として活用

「道の駅」の機能・施設と規模

「道の駅」の機能・施設と規模は次のとおりです。

【機能・施設】



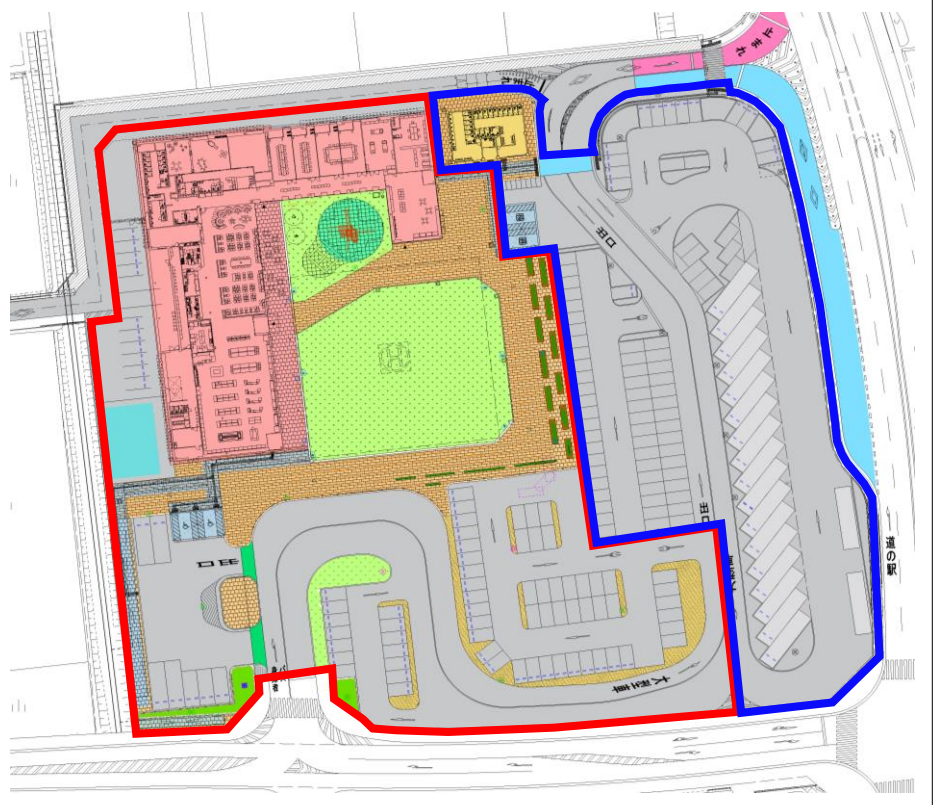
【主な施設規模】

機能名	施設名	具体的施設名	施設規模
休憩機能	駐車場施設	大型車駐車スペース	19台
		小型車駐車スペース	80台
		思いやり駐車スペース	2台
	トイレ施設	トイレ施設	約150㎡
情報発信機能	休憩施設	休憩施設	約140㎡
	情報発信施設	情報発信施設	
地域連携機能	駐車場施設	小型車駐車スペース	63台
		思いやり駐車スペース	2台
		トイレ施設	約130㎡
	飲食施設	飲食施設	約340㎡
	農産物直売物販施設	農産物直売物販施設	約540㎡
	コミュニティ交流施設	子育て支援施設	約240㎡
		屋外広場	約1,330㎡
		公園	約370㎡
		多目的施設	約270㎡
		DMO活動拠点（事務所）	約90㎡
防災機能	防災拠点	管理施設	約110㎡
		救助救護場所	駐車場兼用
		防災ヘリポート	屋外広場兼用
		防災倉庫	約150㎡
その他の機能	その他機能	バス停施設	約1,000㎡

施設配置計画

敷地面積：約 20,000 ㎡
建築面積：約 2,300 ㎡

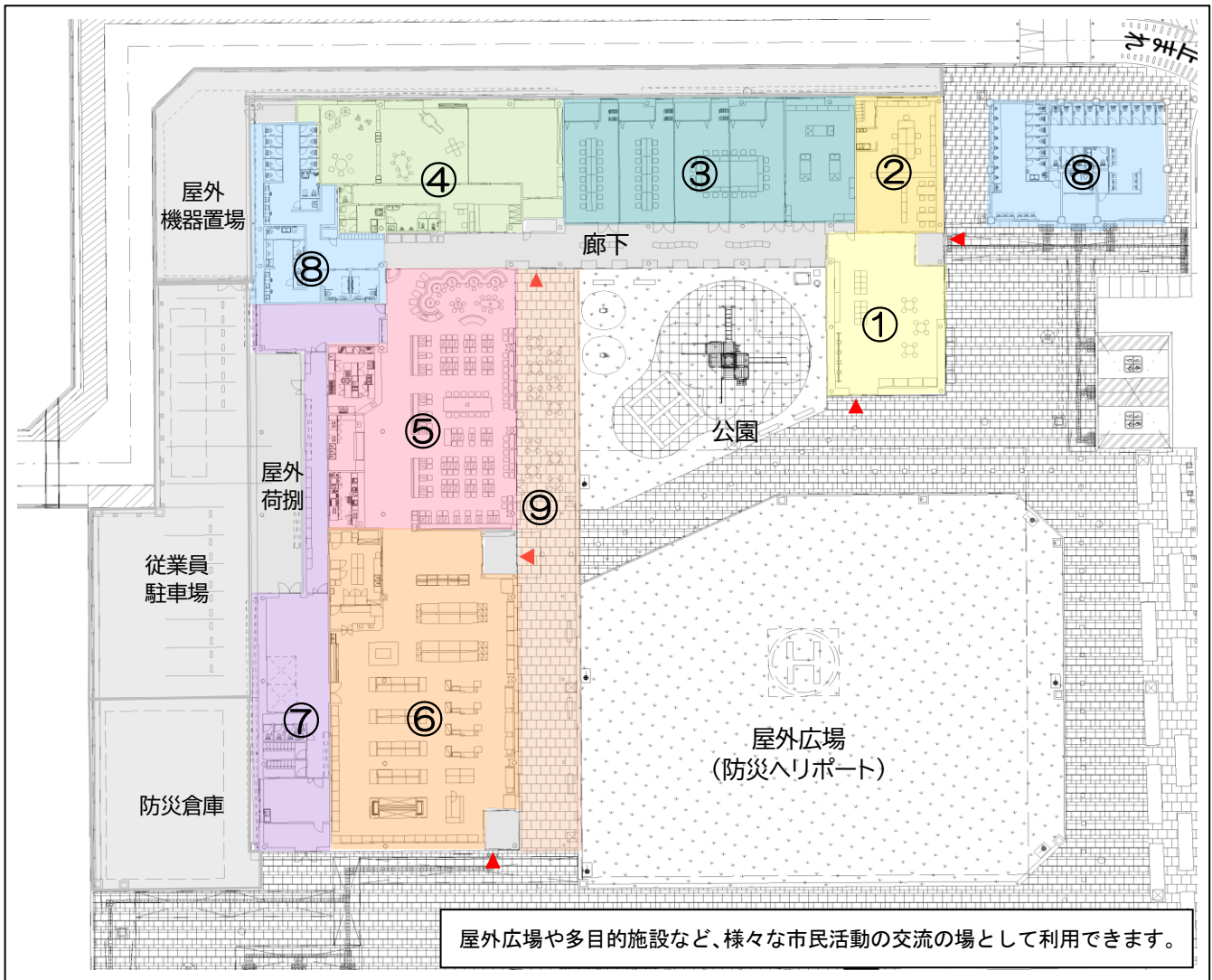
- …愛知県
 …日進市



※今後の検討・調整により変更となることがあります。

屋内施設・公園・屋外広場等

「道の駅」の屋内施設・公園・屋外広場等の施設を以下に示します。



※今後の検討・調整により変更となることがあります。

凡 例

◀ : 主要エントランス

① : 情報発信施設	② : DMO 活動拠点	③ : 多目的施設
④ : 子育て支援施設	⑤ : 飲食施設	⑥ : 農産物直売・物販施設
⑦ : 管理施設	⑧ : トイレ施設	⑨ : 半屋外空間

(イメージ)

■子育て支援施設



■飲食施設



■トイレ施設 (屋内)



■半屋外空間



施設配置イメージ



※今後の検討・調整により変更となることがあります。

施設イメージ



※今後の検討・調整により変更となることがあります。

整備・管理運営手法

日進市「道の駅」の整備手法は愛知県（道路管理者）との一体型整備による公設で、指定管理者制度により、民間事業者による管理運営を予定しています。

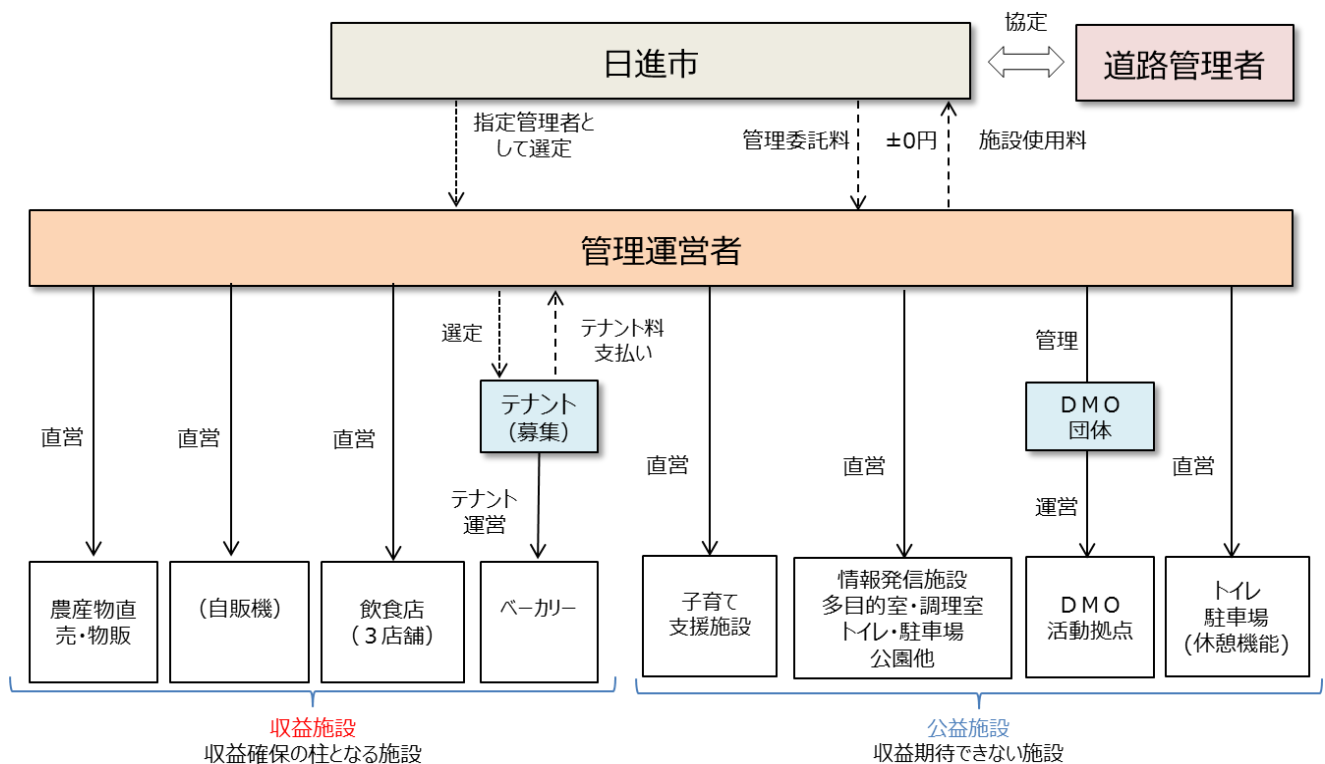
【日進市「道の駅」の整備・管理運営手法まとめ】

整備手法		管理運営	
		運営手法	運営者
一体型	公設	指定管理者制度	民間事業者

管理運営体制（想定）

収益施設のうち、農産物直売・物販、自動販売機、飲食店、ベーカリーの運営方法については指定管理者の考えによります。ここでは次ページの「想定される収支」を算定するにあたって、農産物直売・物販、自動販売機、飲食店 3 店舗は指定管理者の直営、ベーカリーはテナント運営と仮定しています。

公益施設のうち、子育て支援施設、情報発信施設、多目的室・調理室等は、指定管理者が直営するものとし、DMO活動拠点はDMO団体が運営します。



想定される収支（試算）

基本設計に基づき想定される収支（試算）は、「道の駅」全体の管理を含め、以下の仮定をもとに算定すると、約 68,000 千円/年となります。また、年間利用者数により、収支（試算）は大きく異なると考えられます（年間利用者数：約 78 万人 基本計画参照）。

今後、開駅に向け、より多くの人に利用されるよう取り組み、日進市が指定管理者に支払うべき管理委託料と、指定管理者が日進市に支払うべき施設利用料を相殺し、±0 円を目指します。

●主な仮定項目と内容(想定)

■営業日	: 原則年中無休 (年末年始等特別休業日はあり)	■公益部門	
■営業時間	: 原則 9:00～18:00(9時間) 飲食部門は利用者状況を見て設定 (11:00～16:00等) 冬場は17:00まで(8時間)	子育て支援施設	: 無料
■年間利用者数	: 約78万人	多目的・調理室	: 有料
■人件費	: 正規概算 6名 非正規概算 35名 計41名	DMO活動拠点	: 無料
		トイレ・駐車場(休憩機能)	: 無料

※水道光熱費、維持管理費は算出しているがここでは省略

●収支算定結果(試算)

(千円)

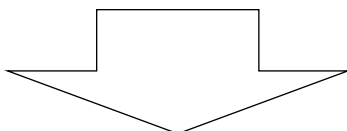
記号	項目	金額	備考
A	売上高	726,000	
B	仕入原価	499,000	
C	一般管理費	148,000	
D	営業利益	79,000	D=A-B-C
E	減価償却費	11,000	
F	経常利益	68,000	F=D-E

●感度分析(試算)

・年間利用者数を約 78 万人とした場合は、単年度の経常利益は約 68,000 千円となる。
・年間利用者数を 8 割の約 60 万人とした場合は、単年度の経常利益は約 31,000 千円となる。

(千円)

番号	年間利用者数	経常利益	備考
1	約80万人	68,000	
2	約78万人	68,000	
3	約70万人	59,000	
4	約60万人	31,000	78万人の約8割
5	約50万人	2,000	78万人の約6.5割



●想定される収支(試算)

・日進市「道の駅」の想定される収支(試算)は、道の駅全体の管理を含め、約 68,000 千円となる。
・なお、日進市「道の駅」は、都市型の道の駅として新たな道の駅を目指しており、当面の収支算定のための利用者数は 8 割の約 60 万人以上と考え、約 31,000 千円以上を期待している。

概算事業費

「道の駅」における概算事業費は、現時点において試算すると、用地費を除き、道の駅整備で約14億円、道の駅に関する周辺道路等整備で約2億円を見込んでいます。また、用地費は、日進市分として約5億3千万円となる予定です。

なお、概算事業費は、今後の物価等の単価により変更となることがあります。

(1) 道の駅整備 概算事業費

番号	機能名	施設名	概算事業費
1	休憩機能	・駐車場施設 ・トイレ施設	約2億円
2	地域連携機能 (情報発信機能等含む)	・情報発信施設(休憩施設含む) ・駐車場施設 ・トイレ施設 ・飲食施設 ・農産物直売・物販施設 ・子育て支援施設 ・屋外広場 ・公園 ・多目的施設 ・DMO活動拠点(事務所) ・バス停施設 等	約12億円
	合計		約14億円

* 防災倉庫、耐震性貯水槽は、防災に関わる別事業のため除く。
* 概算事業費は、今後の検討・調整により変更となることがあります。

(2) 周辺道路等整備 概算事業費

番号	路線名	主 な 内 容	概算事業費
1	主要地方道 瀬戸大府東海線	道路整備、交差点改良	約1億円
2	市道本郷・藤島線 市道本郷前田北線	道路整備	約1億円
	合計		約2億円

* 概算事業費は、今後の検討・調整により変更となることがあります。

スケジュール（想定）

	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
基本構想の策定	→									
基本計画の策定		→								
測量・設計 ・現況測量 ・地質調査 ・基本設計 ・詳細設計			→					→ (修正設計)		
用地取得等			→	→	→	→	→			
管理運営の検討、指定管理者の選定等				→	→	→	→	→		
建設・施工						→	→	→	→	
「道の駅」供用開始										開駅

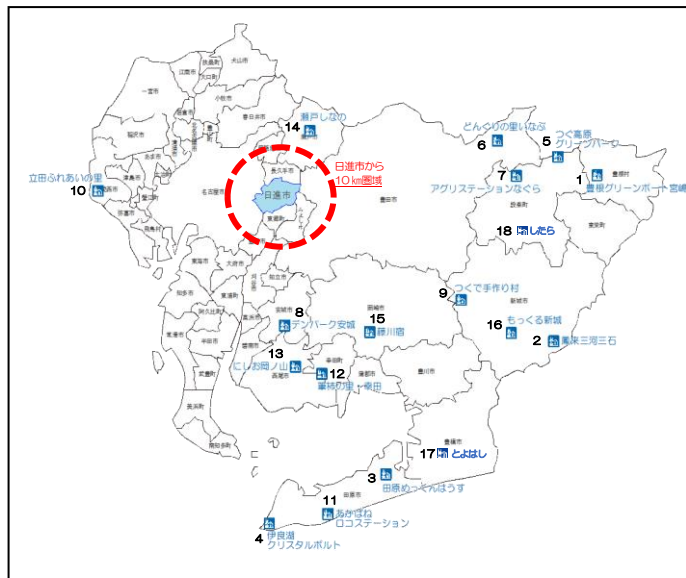
※今後の検討・調整により変更となることがあります。

「道の駅」の整備状況

全国の「道の駅」登録数は1,198駅、愛知県内の「道の駅」登録数は18駅です。

〈全国「道の駅」登録数〉

1,198 駅(令和4年8月5日時点)



番号	駅名	市町村名	登録年月日
1	豊根グリーンポート宮嶋	豊根村	H5.4
2	鳳来三河三石	新城市	H5.4
3	田原めっくんはうす	田原市	H5.4
4	伊良湖クリスタルポルト	田原市	H6.8
5	つく高原グリーンパーク	設楽町	H6.8
6	どんぐりの里いなぶ	豊田市	H10.4
7	アグリステーションなぐら	設楽町	H11.8
8	デンパーク安城	安城市	H12.8
9	つくで手作り村	新城市	H13.8
10	立田ふれあいの里	愛西市	H17.8
11	あかばねロコステーション	田原市	H21.3
12	筆柿の里・幸田	幸田町	H21.3
13	にしお岡ノ山	西尾市	H21.7
14	瀬戸しなの	瀬戸市	H22.8
15	藤川宿	岡崎市	H24.9
16	もっくる新城	新城市	H26.10
17	とよはし	豊橋市	H31.3
18	したら	設楽町	R2.7

重点「道の駅」の選定

道の駅整備事業について、平成31年1月30日、地方創生の核となる特に優れた企画の道の駅として、国土交通省より重点「道の駅」に選定されました。



重点「道の駅」選定証授与式



重点「道の駅」選定証



重点「道の駅」とは？

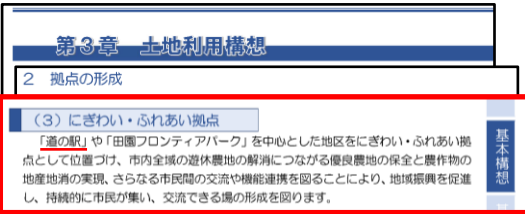
重点「道の駅」とは、国土交通省が地方創生や地域活性化の拠点の形成等を目指した道の駅の新たな設置またはリニューアルなどの企画提案を公募し、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるものを選定するものです。

重点「道の駅」の選定により、社会資本整備総合交付金などの重点配分によるハード的な支援や、自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係間の制度の活用等について、ワンストップで相談できる体制を構築できるというソフト的な支援を受けることができます。

上位計画の位置づけ

1. 第6次日進市総合計画（第2期日進市まち・ひと・しごと創生総合戦略）





「道の駅」や「田園フロンティアパーク」を中心とした地区をにぎわい・ふれあい拠点として位置づけ、市内全域の遊休農地の解消につながる優良農地の保全と農作物の地産地消の実現、さらなる市民間の交流や機能連携を図ることにより、地域振興を促進し、持続的に市民が暮らしている、交流できる場の形成を図ります。



本市は、名古屋と豊田市の間に位置し、通勤圏内のベッドタウンとして発展してきた。本市の地域活性化をより一層推進していくため、市内外問わず多くの人々が交流し、親しむことができる、地域の元気の核となる拠点施設や、市民生活支援、地域産業支援、周辺観光地へのアクセス利便性の向上等、地域振興を図るための拠点施設の整備を進めます。

道の駅整備事業

道の駅の整備を進めることで、将来のまちの持続的な発展に向け、子育て支援、防災・減災、農業振興等の地域課題の解決に取り組むとともに、地域活性化の拠点となる市民交流やにぎわいの場の形成等を図ります。

道の駅に関する日進市の取組等

1. にっしん市民まつり（産業まつり）等

「にっしん市民まつり」は日進市の秋の祭典。その中心となる「産業まつり」は市内商工業や農業振興を目的に、市内飲食店の屋台や農産物の販売等のブースが出店され、毎年、多くの市民が来場している。

「にっしん夢まつり」は多数のチームが鳴子おどりなどを行う「夢おどり」、約150の屋台が出店する「夢屋台」、夕方から約2000発の花火が夜空を彩る「夢花火」から構成され、特に「夢花火」は澄み渡る秋の夜空を彩る風物詩として市民をはじめ多くの人に親しまれている。

【来場者数】

No.	イベント名	主催	開催時期	来場者数
1	にっしん夢まつり	実行委員会・商工会・市	9月	110,000人 (R元年)
2	市民まつり (産業まつり)	市 (JA・商工会)	11月	102,000人(内ディズニーパレード50,000人) (R元年)

2. 田園フロンティアパーク構想（基本計画）

田園フロンティアパークは、拠点施設と拠点農園からなる。拠点施設は、レストラン、産地直売所、食品加工所、農学校、農業リサイクル施設、防災倉庫などを整備する。また、拠点農園は、市内の農地を活用して、農家と協力しながらレクリエーション農園・実習農園・市民農園・体験農園などを整備する。



3. にっしん版DMO構想

日進市では、観光まちづくりに向けて、平成30年3月28日に、にっしん観光まちづくり協会を設立。今後、DMO*設立に向けて取り組んでいく予定。

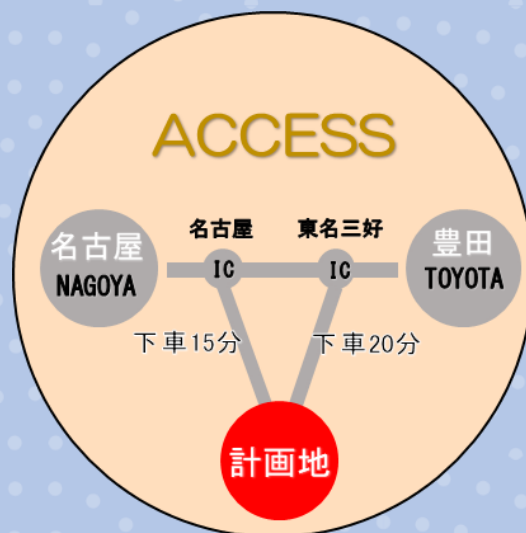
※DMO

(Destination Management Organization)

：地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりのかじ取り役となる組織のこと



DMO活動内容PRイメージ



道の駅の詳細については、
市ホームページで公開しています。



自治体名：日進市
担 当：産業政策部 基幹施設整備課
電 話：0561-75-2706
ファクス：0561-73-1871
Eメール：kikanss@city.nisshin.lg.jp